



The Shimonoseki City University Public Relations

第58回下関市立大学入学式

下関市立大学広報

海峡の英知。未来へそして世界へ。

公立大学法人

下関市立大学

Shimonoseki City University

2019年7月1日 第88号

発行：下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL.083-252-0288

FAX.083-252-8099

<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

第58回下関市立大学入学式

入学式を開催して

学部長 飯塚 靖
(国際商学科 教授)

4月4日(木)、満開の桜が咲き誇るなか、第58回入学式が本学体育館で開催されました。本年度は、学部学生として経済学科238名、国際商学科240名、公共マネジメント学科80名の合計558名(うち留学生14名)、編入学生22名および大学院生4名の総数584名の新生を迎えました。

式は、放送部の今村遙さん(経済学科2年)、兵頭萌歌さん(経済学科2年)の司会で進められ、学長告辞では、川波洋一学長から「大学では、問題意識や知的関心、将来の希望に沿って自らの学びを自主的に計画し実行してほしい。また、様々な方法で知識や情報を吸収しながら自らの頭で考え、その考えを反芻しながら学ぶことが大切です。」とのメッセージが新生に送られました。

続いて、山村重彰理事長、前田晋太郎市長、林透下関市議会議長、岩本浩二後援会長から祝辞が述べられた後、経済学科の林知保里さんと大学院経済学研究科の辛麗さんがそれぞれ新生代表の宣誓を行いました。

式の最後には、学生歌「青潮ゆたかに」を新生全員で斉唱し、これからはじまる学生生活への希望と期待をあらたにしました。

好天にも恵まれ、列席された多くの保護者のみなさんや来賓の方々、そして在学学生や教職員に祝福される晴れやかな式となりました。



充実した4年間になるように

経済学科1年 林 知保里
(下関商業高等学校出身)

4月4日(木)に行われた第58回下関市立大学の入学式で、私は新生代表の挨拶を務めました。以前の私なら絶対に断っていたであろうこの大役を引き受けたのは、大学入学を機に様々なことに挑戦したいという思いからでした。このような式で挨拶する機会をいただいたことに感謝し、これからの4年間が充実したものとなるよう頑張りたいと思います。

私は在学中に挑戦したいことが多くあります。まず、語学力の向上です。使う機会がなければ語学力は衰えていくので、実際に外国研修に参加してネイティブの方とコミュニケーションする機会を増やしたいと思います。また、現地での生活を通じて多様な文化に触れたいと思います。

次にサークルや部活動に入り、体力の増進に努め、また、様々な方と関わり人間性を高めることです。加えて、大学では高校のようなクラス単位の関わりが少ないので、サークルや部活動で交友関係を広げ深めていきたいです。

さらに、積極的に資格取得にチャレンジしたいと思います。高校で学んだ簿記を生かし、日商簿記では更に上の級に合格できるよう努力していきたいです。また、朝鮮語検定試験にも挑戦したいと考えているので、日々の講義をしっかりと聞き勉強に励みたいです。

最後に、大学に入学できたのは、家族や母校の先生方の支えがあったからこそであり、そのことに感謝し、これから大学4年間の日々を送ってきたいと思います。



新任挨拶

対人関係と適応の心理学

教授 谷口 弘一
(教育心理学、教育相談)



本年度4月に着任いたしました谷口弘一と申します。広島、岡山、京都、長崎、下関と、西日本をほぼ一回りするように異動して参りました。

私の専門分野は心理学です。教職課程では、「教育心理学」、「教育相談」、「生徒指導」、「介護等体験実習」を担当しています。ここでは、私の研究テーマについて、少し具体的なお話をしてみたいと思います。家族、友人、職場の同僚などと意見がぶつかったり、言い争ったりしたときのことを思い出してみてください。皆さんなら、そうした状況に対して、どのように対処するでしょうか。以下の3つの選択肢の中からお答えください。①相手のことをよく知ろうとした、②無視するようにした、③自然のなりゆきに任せた。実は、この3つの対処方法のうち、どれを選択するかによって、その人の心の健康状態が大きく左右されてしまうのです。正解は、もしよろしければ、拙著の『対人関係と適応の心理学』(北大路書房)をぜひご覧いただけますと幸いです。

教育・研究・地域社会に貢献できるように、一生懸命頑張っております。ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

経済学の学びを通じたコミュニケーション

教授 奥山 忠裕
(政策評価、ミクロ経済)



本年度より経済学科に着任しました奥山です。本学では、ミクロ経済学や応用ミクロ経済学を担当します。専門は、経済モデルを使った評価論という、ちょっとなじみがない分野をしています。これまで、文化施設が地域にある意味や、観光地間の人の行き来がどう変わるか、生態系が人々のレクリエーションをどの程度楽しいものになっているか、また、災害のリスクをどう回避していくか、といった研究をしてきました。

これまでのゼミでは、消費者問題や、農産品のブランド化など、学生たちの興味関心に合わせたテーマでやってきました。この辺はみんなで相談しながらやりますが、経済事象に沿っているものを選んでもらうようにしています。また、知識を学ぶとともに、「人に伝えたいことを正しく説明する」ことに重点を置きたいと考えていますので、話し方やレポートの表現の仕方なども、みんなで改善案を話し合ってもらいたいと考えています。

この下関での学修や生活を通じて、皆さんとともに成長したいと考えています。よろしくお願いいたします。

英語教育と社会科学の接合

教授 南 貴子
(応用社会科学、英語教育)



本年度から英語担当教員として着任いたしました南 貴子です。

研究面では、海外、特にオーストラリア・ビクトリア州の事例を中心として、生殖補助医療によって生まれた家族・子の権利の問題、それを巡る社会政策・法制度の問題について研究してきました。近年では、安楽死・幫助自死などの問題についても研究しています。「生とは何か」との問いは、あらゆる学問を突き詰めていけば突き当たる究極的な課題です。また、「生／死」は国境・人種に関わりなく、人間が共通して避けて通れない永遠の課題です。

私の研究は、ジェンダー、社会学、生命倫理、法律学など、特定の分野にとらわれず、学際的な視点から、海外の先行事例をもとに、その課題について切り込もうとするものであり、研究を遂行するには文献・資料を読みこなす英語力が不可欠です。

教育面では、これまで一貫して英語教育に取り組んできました。本学では英語教育を担当するにあたって、何よりも英語を学ぶことの楽しさ、そして、英語を学ぶことにより世界が広がっていく開放感を学生が体感できるような教育を目指したいと考えております。

視点を変えること、考えること

准教授 田吹 香子
(アメリカ文学)



4月より着任いたしました田吹香子と申します。大学では英語関係の授業を全般的に担当します。

専門はアメリカ文学で、現在はティム・オブライエンという作家の小説を研究しています。ベトナム戦争に従軍したオブライエンはその経験を作品の題材とすることが多く、そのため世界中の研究者たちのほとんどが彼を「戦争作家」と位置付け、戦争が彼の作品に与える影響について論じています。しかし、私自身はそうは捉えず、戦争のさなかや復員後のアメリカでの生活の中で感じる「居場所のなさ」といった「語りえぬ出来事」が彼の作品の中でいかに表象されるかという点に着目しています。そして、授業でも文学研究同様「アングルを変えて物事を見る」ことを実践し、学生とともに深く考え、話し合うことが私の楽しみの一つとなっています。

本学で非常勤講師として8年間授業を担当してきましたが、大学という組織で専任講師として働くのはこれが初めてです。研究スピードも遅く、大学に関しても右も左も分からず不手際な点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

新任挨拶

研究と教育の抱負

准教授 長濱 幸一
(西洋経済史)



本年度より経済学科に着任いたしました長濱幸一と申します。本学では西洋史、西洋経済史および演習科目を担当いたします。

研究については19世紀後半から20世紀初頭のハプスブルク帝国(主にボヘミア)を対象にしています。工業化に伴い社会・経済環境が大きく変わる中で、ネーション意識がどのように醸成され、どのような影響を及ぼしてきたのかを検討してきました。さらに研究を深め、ナショナリズムがもたらした功罪を考えていきたいと思っています。

また、講義という場面では教える立場にありますが、前任校では学生たちに導かれ、フェアトレードや空き家の問題など専門外の様々なことを学ばせてもらいました。ここ下関でも学生たちと共に成長を続けたいと願っておりますし、地域の発展にささやかでも貢献できればと考えています。学内の教職員と地域の皆様には大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願い致します。

フィールドワークを通して見る社会

特任教員 福本 純子
(環境社会学)



本年度より着任いたしました福本純子と申します。本学で地域貢献を担当いたします。私の専門は環境社会学、農村社会学です。中国地方、特に広島県の小水力発電施設を持つ農山村へのフィールドワークを通して、再生可能エネルギーの持続可能なあり方について研究しています。再生可能エネルギーというと比較的新しいテーマのように聞こえますが、広い意味でとらえると、水資源が豊富な日本は小水力発電において古い歴史を持っています。それらと付き合い、守り続けてきた地域コミュニティに焦点を当て、地域の方々のお話を聞き、再生可能エネルギー維持のしくみを探っています。

自身の研究対象地だけでなく、学部時代から調査実習等含め様々な土地でのフィールドワークをおこなってきました。産業や自然、文化の面で豊かな特色を持つここ下関でも、フィールドワークを通してたくさんの方々からお話を聞き、地域貢献に活かしたいと思っています。下関に関しては初心者です。ぜひ皆さまから様々なことを学ばせていただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

言語学と応用言語学

特任教員 崔 雲 忠
(中国語教育)



初めまして、中国の青島大学より参りました崔雲忠と申します。これから1年間にわたり中国語の授業を担当します。

この大学に来る前まで、青島大学で初級、中級、上級中国語と中国語文法教育(大学院)の授業を担当し、10年近く中国の教育に携わってきました。また、10年間の中国語教師を経て、長く経歴を積み、様々な貴重な経験や体験をしてきました。

授業の他にも科学研究に従事し、国際シンポジウムに積極的に参加したり、論文を発表したりと授業を行う際に活かせる最新の情報やテクニック等を常に吸収できるよう努めました。

下関市立大学での1年間の教員生活を通して、中国の教育についてより理解を深め、さらに自分自身も成長したいと思っています。最後に、とても奥が深く面白い中国語を皆さんと楽しく学んでいけたらなと思っています。どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。

私のゼミ

連載企画

論文・新聞から身につく企業法務と伝える力

国際商学科4年 加茂 桃香
(佐賀県立唐津東高等学校出身)

久保ゼミでは、ビジネスに関する法律問題や判例について研究しています。

3年次には個人発表を通じて、様々なビジネス法務の領域を題材にした論文や判例研究を読解します。私は企業調査、倒産処理、会社の権利能力の判例などを担当しました。論文をレジュメにまとめ、図や表、具体例を活用してわかりやすく説明するという作業を行います。これにより、文章の読解力、相手にわかりやすく説明する伝達力が身につきます。

また、毎週の課題として日本経済新聞の法律や企業に関する記事を自分で選び、その記事を要約、考察し、まとめ、発表しています。個人個人でピックアップする記事に違いがあるため、様々な業界や法務の最新情報を得ることができ、社会への関心が高まります。

4年次には、こうした論文・新聞の講読で得た知識・能力を生かして、卒業論文を執筆します。その成果として、全員で卒論発表会を行いゼミ論文集にまとめることを目指しています。



国際交流

着物との出会い、令和の始まり

国際商学科1年 王 海楠
(中国・河北省出身)

元号が令和になり、快晴になった5月2日に、私たち留学生は赤間神宮に参りました。水天門を通り抜けて、二階の部屋で振袖の着付けをしてもらいました。しばらくすると息が苦しくなりましたが、あっという間に、皆は普段着とは違う美しい着物姿になりました。着物を着付けてもらっている時は、息苦しく動きにくかったのですが、着物の特性から背筋が伸び、姿勢が良くなりました。女性の優しさと美しさを表現できました。

そして、着物をじっくり見れば、意味深い柄を味わうことができました。色彩と生地に惹かれ、皆と一緒に話したり、沢山の着物に触れたりして、盛り上がりました。

いよいよ参拝が始まり、本学以外の方々と共に並んでいるうちに、柄の無い着物にも惹かれました。振袖より目立たないのに、淡泊な和の色合いを見ると、私の気持ちも穏やかになりました。非常に美しいものでした。

最後に、拜殿で安徳天皇を参拝し、新元号を迎え、永遠の平和を願いました。



「トルコ」に対する認識の変化

国際商学科2年 吉澤 真穂
(大分県立大分舞鶴高等学校出身)

私は今回、「日本にいながら世界を知ろう!!」でトルコからの留学生であるオズデル イレム ギュルさんのプレゼンテーションを聞き、トルコという国について詳しく学びました。

これまでトルコは、私たちの住むアジアとヨーロッパをつなぐ国という大まかな認識で、旅行するには少し治安が気になるというイメージを持っていました。しかし、今回留学生のイレムさん(トルコ出身)のプレゼンテーションを聞いて、現在私の住んでいる下関市は、イスタンブール市と姉妹都市ということを知り、また観光地としても安全で人気な場所ということが分かりました。特に、下関市にある「火の山公園」から見える景色と同じような景色を遠く離れたトルコでも見ることができるということを知り、ぜひ訪れたいと強く感じました。

トルコについての話を聞くことはめったにないので、留学してなくてもこのような現地の方の視点を知るよい機会であり、学内でもっと留学生の皆さんと交流していきたいと感じました。そして私自身も海外の方に堂々と日本の良さについて話ができるように努めていこうと思います。



下関探訪・防災ツアー

国際商学科2年 賈 慧莹
(中国・山東省出身)

4月2日に行われた下関探検・防災ツアーには、新入留学生全員と留学生チューターが参加しました。路線バスの乗り方を教えながら消防防災学習館「火消鯨」に向かいました。移動中も留学生と留学生チューターはよく話をしました。

火消鯨では、地震がどのようなもので、どのような備えがあれば良いかがわかる映像を見た後、一人ずつ消火体験を行いました。また、実際火事があった場合の通報模擬練習も行い、一人ずつ救急救命のやり方も体験しました。

今回のツアーを通して、自然災害の恐ろしさや対策、救命処置について詳しく知ることが出来ました。特に日本の救急と火災の電話番号は母国と違うので、注意しなければならないことを学びました。今回の下関探検・防災ツアーは新入留学生にとって様々なことを知る絶好のチャンスでした。また、このようなツアーを通して、新入留学生と先輩が互いにコミュニケーションをとり、より充実した4年間を過ごせることを願っています。



今日出すゴミ袋は赤!?

オズデル イレム ギュル
(トルコ・科目等履修生(外国人留学生))

春学期の初めに、私たち留学生は日本の生活習慣を学ぶため、様々なオリエンテーションに参加しました。そのオリエンテーションの一つに、下関環境みらい館の見学があります。

環境汚染では、特にゴミの問題が深刻です。環境みらい館では、日本のゴミの分別方法について説明を受けました。日本全国で分別の方法は一概ではなく、場所によって違うルールがあることを学びました。日本ではゴミの分別の種類やゴミを捨てる曜日も決まっています、トルコではこんなに複雑ではないので、それを聞いてびっくりしました。

一通りゴミについての話を聞いた後、そこに集められるゴミや分別の作業をしている人々を見ながら工場の中を見学しました。最後に、古い牛乳パッケージを使った古紙で綺麗なピンク色の絵葉書を作って見学を終えました。

日本で暮らす留学生は、自分でゴミを分別しなければならなくなるので、非常に役に立つ体験になりました。



国際交流

日本の伝統文化にふれて

彭 仁萱

(台湾・銘傳大学交換留学生)

4月4日(木)下関市立大学入学式が行われた日の午後、SCU国際交流会館で日本舞踊の開講式が行われました。

日本舞踊はきれいな着物を着て、踊りと民謡を合わせて、舞台上で上演する日本の伝統的な文化です。外国人から見て、本当に美しい文化だと思います。開講式の日、入部希望者は日本人のほか、中国人、タイ人やトルコ人など、様々な国の留学生が訪れました。先生は着物の着付けを教えてくださいました。初めは複雑で難しいと思いましたが、先生は熱心に教えてくれて、勉強になりました。いつか自分で浴衣をきれいに着たいです。また、みんなと一緒にお菓子や飲み物を食べたり、しゃべったりして交流し、楽しい時間を過ごせました。

私にとって、日本舞踊は留学中に体験したいことのひとつです。留学生も着物を着て舞台上で踊る機会があり感動しました。これからも世界中の人たちにこの美しい日本の文化を伝えたいと思います。



豊北きらきらこども園のボランティア活動に参加して

国際商学科2年 イムラン アリ
(パキスタン・ラホール出身)

「豊北きらきらこども園」のボランティア活動に参加しました。子どもたちに英語のネイティブの発音、ジェスチャーなどを紹介するのがこのボランティアの目的です。

今まで私は、ボランティア活動なんて対価のない労働で、何かするのであればアルバイトで給料を得ながら新しいスキルを身につけていった方がいいのではないかと考えていました。しかし、子どもに接することが苦手な私にとって、ボランティア活動を通じた絶好のチャンスなのではないかと思い、参加することにしました。非常に元気のある子どもたちと英語でちょっとした会話をしたり、昼休みに鬼ごっこをしたり、昼食を一緒に食べたりしたことで、ただ素直に子どもに接すればいいだけだと気づき、少しずつ苦手意識が消え、少しの時間で自分が大きく成長したと実感しました。

今回のボランティア活動を機に、今後は様々なボランティアに挑戦してみたいと思えるようになりました。



アメリカの協定先(CCCCD)から来学

准教授 クリステン サリバン
(国際交流委員会副委員長)

4月22日にアメリカのカリフォルニア州にあるコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)のSteven Hales氏が本学を訪れ、CCCCDへの留学について学生に対して説明会を行いました。CCCCDは3つのカレッジ(コントラ・コスタ・カレッジ、ディアプロ・バレー・カレッジ、ロス・メダノス・カレッジ)で構成されており、Hales氏はそれぞれのカレッジの特徴や違いなどを説明し、留学することのメリットについて語りました。

本学は2004年にピッツバーグ市(下関市の姉妹都市)にあるロス・メダノス・カレッジ(LMC)と交流協定を結び、これまで30名もの学生がLMCへ留学しました。今年の4月に本学とCCCCDとの間で新たな覚書と留学に関する協定書が締結され、この協定によりCCCCDのすべてのカレッジへの留学が可能になりました。早速、この8月から2名の学生がディアプロ・バレー・カレッジ(DVC)へ留学する予定です。

本学で派遣留学の募集が4月1日～5月20日頃と10月1日～11月20日頃の2つの時期に分けて行われます。次のCCCCD留学の募集はこの10月1日から始まります。アメリカ留学をはじめ、留学を考えている学生は早くから余裕をもって国際交流センターに行って相談してください。



第58回入学式・大学院で学びたいこと

大学院経済学研究科1年 辛 麗
(中国・青島大学出身)

4月4日、柔らかな春の陽射しに包まれた良き日に、下関市立大学第58回入学式が行われました。今回は平成時代の最後の入学式ということで、とても有意義に思いました。

大学院は2年間で、あっという間に過ぎていくことと思いますが、常に求め、努力し、備え、たくさんの体験ができる2年間にしたいと思います。現在、中国では少子高齢化、経済のバブル化、貧富の差、教育の不公平などの問題は山ほどあります。このような困難な課題が渦巻く中にいるからこそ、大学院で専門的な知識を習得し、多様な物の考え方、グローバルな視野と行動力、コミュニケーション力などの力を身につけ、問題を解決できるように努力していきたいと思っています。

これからの大学院での日々大きな夢と希望を抱き、新しい出会いに真摯に向き合い、勉学に励み、新しい人生の一步を歩み始めたいと思っています。



2019年度入試実施状況

学科	入試種別		定員	志願者	受験者	合格者	実質倍率	入学者	
経済学科	推薦	全国	28	78	78	29	2.7	29	
		地域	A	29	42	42	29	1.4	29
	B								
	一般選抜	前期	A	28	113	111	39	2.8	33
			B	28	125	118	43	2.7	28
		中期	78		1392	823	279	2.9	114
	帰国子女		2		0	0	0	-	0
	社会人		2		0	0	0	-	0
	外国人留学生		若干名		14	13	6	2.2	5
第3年次編入学		8		30	23	10	2.3	8	
国際商学科	推薦	全国	28	62	62	33	1.9	33	
		地域	A	29	39	39	29	1.3	29
	B								
	一般選抜	前期	A	28	98	92	39	2.4	33
			B	28	116	110	44	2.5	29
		中期	78		1016	519	259	2.0	107
	帰国子女		2		0	0	0	-	0
	社会人		2		0	0	0	-	0
	外国人留学生		若干名		24	22	12	1.8	9
第3年次編入学		8		27	20	10	2.0	9	
公共マネジメント学科	推薦	全国	8	23	23	10	2.3	10	
		地域	A	8	10	10	8	1.3	8
	B								
	一般選抜	前期	A	9	38	35	13	2.7	12
			B	9	106	97	14	6.9	11
		中期	24		478	264	93	2.8	39
	帰国子女		1		0	0	0	-	0
	社会人		1		0	0	0	-	0
	外国人留学生		若干名		1	1	0	-	0
第3年次編入学		4		13	8	5	1.6	5	

※推薦及び一般選抜前期日程の合格者数には第2・3志望学科合格者を含みます。

2019年度合格者出身校

北海道	旭川西、小樽桜陽、小樽潮陵、帯広柏葉、札幌北陵	広島県	安芸南、安佐北、五日市、因島、盈進、尾道、尾道北、尾道商業、尾道東、海田、加計、賀茂、神辺旭、祇園北、銀河学院、近畿大学附属広島(東広島校)、近畿大学附属広島(福山校)、呉三津田、呉宮原、高陽、修道、世羅、大門、武田、日影館、ノートルダム清心、廿日市、広、広島、広島井口、広島観音、広島県瀬戸内、広島国際学院、広島国泰寺、広島城北、広島新庄、広島大学附属、広島皆実、福山鞆陽、福山誠之館、福山明王台、府中、舟入、三原、三原東、三次、安田女子、安古市
栃木県	宇都宮清陵	山口県	厚狭、宇部、宇部鴻城、宇部商業、宇部中央、小野田、下松、下松工業、慶進、西京、サビエル、下関(中等教育)、下関工科、下関商業、下関西、下関南、田部、長府、豊浦、西市、野田学園、梅光学院、萩、早鞆、光、響、防府、防府商工、防府西、豊北、柳井、山口、山口県桜ヶ丘、山口中央
埼玉県	栄北	徳島県	池田、海部、城東、城南、城北、徳島北、富岡西、富岡東、脇町
東京都	大森学園、芝	香川県	英明、大手前高松、香川誠陵、香川中央、坂出、善通寺第一、高松桜井、高松第一、高松西、丸亀、三木
富山県	小杉、富山東、富山南	愛媛県	今治北、今治西、今治東(中等教育)、伊予、宇和島南(中等教育)、愛媛大学附属、西条、済美、丹原、新居浜西、新田青雲(中等教育)、松山北、松山商業、松山西(中等教育)、松山東、松山南、三崎、南宇和
石川県	金沢、金沢二水	高知県	高知、高知追手前、高知学芸、高知西、土佐
福井県	仁愛女子、武生、武生東、丸岡	福岡県	朝倉、育徳館、糸島、折尾愛真、春日、香住丘、嘉穂、嘉穂東、北九州市立、九州国際大学付属、九州産業大学付属九州、九州産業大学付属九州産業、仰星学園、近畿大学附属福岡、鞍手、久留米、小倉、小倉商業、小倉西、小倉南、自由ヶ丘、新宮、精華女子、西南学院、青豊、田川、筑紫、筑紫中央、筑陽学園、伝習館、東海大学付属福岡、東筑、戸畑、中間、中村学園女子、博多青松、柏陵、東福岡、ひびき、福岡工業大学附属城東、福岡中央、福岡北筑、京都、宗像、明善、門司学園、門司大翔館、八幡、八幡南、八女
山梨県	日本航空	佐賀県	伊万里、小城、鹿島、唐津東、佐賀清和、武雄、致遠館、鳥栖
長野県	飯田、長野西	長崎県	壱岐、五島、五島海陽、佐世保北、佐世保西、佐世保南、西陵、対馬、長崎南山、長崎東、長崎北陽台、長崎南、猶興館
岐阜県	大垣西、大垣東、大垣南、可児、岐山、関、長良、美濃加茂	熊本県	天草、鹿本、熊本学園大学付属、熊本北、熊本信愛女学院、熊本西、済々黌、専修大学玉名、第二、玉名、八代
静岡県	静岡北、沼津西	大分県	宇佐、臼杵、大分、大分雄城台、大分鶴崎、大分東明、大分西、大分豊府、大分舞鶴、大分南、杵築、珍珠美山、国東、竹田、中津南、日田、別府翔青、別府鶴見丘
愛知県	阿久比、安城、安城東、一宮興道、一宮南、岡崎北、刈谷北、木曾川、五条、小牧南、星城、知立、豊明、名古屋西、名古屋南、西尾東、西春、半田、半田東、名東	宮崎県	高鍋、妻、延岡、都城泉ヶ丘、都城商業、宮崎北、宮崎商業、宮崎第一、宮崎日本大学
三重県	暁、上野、宇治山田、桑名、鈴鹿、津、津西、松阪、三重	鹿児島県	大川、開陽、鹿児島、鹿児島玉龍、鹿児島情報、鹿児島中央、加治木、鹿屋、川辺、甲南、国分、樟南、川内、武岡台、鳳凰、ラ・サール
滋賀県	虎姫、東大津、彦根東、米原、水口東、守山、八日市	沖縄県	開邦、球陽、那覇国際
京都府	網野、亀岡、京都学園、京都共栄学園、京都成章、京都橘、城南菱創、菟道、東宇治、福知山、堀川、峰山、山城		
大阪府	上宮太子、大阪、大阪借星学園、大手前、開明、北野、近畿大学附属、常翔学園、富田林、浪速、羽衣学園、初芝富田林、阪南大学、布施、三島		
兵庫県	相生、明石、明石北、明石城西、明石西、赤穂、尼崎北、伊丹(県立)、伊丹北、加古川西、加古川東、川西北陵、川西緑台、香寺、甲南女子、神戸学院大学附属、三田学園、須磨東、洲本、星陵、第一学院(養父校)、宝塚北、宝塚西、滝川第二、龍野、津名、豊岡、西宮東、浜坂、東播磨、雲雀丘学園、姫路、姫路飾西、姫路西、姫路東、姫路南、北条、三木、社、山崎		
奈良県	橿原、郡山、智辯学園、智辯学園奈良カレッジ高等部、帝塚山、奈良北		
和歌山県	近畿大学附属新宮、向陽、新宮、耐久、田辺、橋本、日高、和歌山信愛		
鳥取県	倉吉北、倉吉東、鳥取敬愛、鳥取西、鳥取東、八頭、米子東		
島根県	出雲、出雲商業、出雲西、大社、津和野、平田、松江北、松江東、松江南		
岡山県	岡山、岡山朝日、岡山一宮、岡山学芸館、岡山城東、岡山操山、岡山白陵、岡山芳泉、笠岡、勝山、倉敷天城、倉敷古城池、倉敷商業、倉敷青陵、倉敷南、山陽女子、就実、瀬戸、総社、高梁、玉島(県立)、玉野光南、津山、新見、備前緑陽、明誠学院、矢掛		

主体的に学び挑戦しよう!

2019年4月1日就任

理事長 山村 重彰

時代は平成から令和に移りました。私達が日々の生活を平穏に送ることができるのは、平和であるからで、改元の節目に当たり改めてこのことを強く意識しています。新しい時代が紛争や災害のない時代であることを祈ります。

本学は、下関市立大学公式ホームページなどで紹介のとおり、1956年設立の下関商業短期大学を前身とし、1962年に4年制の単科大学（経済学部経済学科）としてスタートしました。当初は入学定員100名でしたが、現在は経済学部3学科450名です。

学舎は、1960年代初頭に、山林に隣接した宅地造成事業用地の一角を確保して建設され、今でも時折野鳥のさえずりが聞こえるとても閑静で学業専念に適した環境にあります。

さて、紹介したいことの一つは、入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）についてです。その方針には「社会の多様な問題に関心を持ち、主体的に学ぼうとする意欲とチャレンジ精神に富み、論理的な読解力と数量的な分析力を備えた多彩な学生を求めています。」と掲げています。（教育課程方針、学位授与方針についてはHPをご覧ください）

私自身、約半世紀前に本学で学び、文武を両立した教育を

授かり充実した4年間の学生生活を送りました。当時の学生達には、自主、自立、挑戦の気概が漂っていましたが、その気風は今も「主体的に学びチャレンジする」という受け入れ方針となって受け継がれています。

二つ目は、就職率についてです。本学は、毎年高い就職率を堅持して、学部系統別実就職率ランキング（週刊東洋経済：本当に強い大学2018）で経済系国公立大学・全国第2位の実績を取めました。ちなみに今春の就職決定率は99.0%でした。

これは、学生自身が社会に求められる人材として本学で力をつけている証でもあり、インターンシップをはじめPBL（課題解決型学習）の実施など教職員一体となったきめ細かな就業力支援体制も一助となつての成果だと思えます。

大学進学を目指している受験生の皆さん、下関市立大学で未来へ挑戦してみませんか。



特待生の表彰を受けて

公共マネジメント学科4年 菊本 愛実
(大分県立大分舞鶴高等学校出身)

入学当初、特待生とは手の届かない存在でした。3年次に進級する時、初めて特待生に選ばれ、非常に嬉しかったと同時に、あの特待生に自分も手が届いたことに驚きました。今思えば、日々の授業を一生懸命に受けた結果だと思います。その中でも特に授業の中で意識していたことは、板書だけでなく、先生の仰った言葉をメモすることです。経済学部では、授業で会社や商取引の仕組みを勉強することが多いのですが、なぜその仕組みがあるのかという理由は忘れがちです。私は先生の言葉の中に、その理由を知るためのヒントが隠れていると、授業を受けて感じました。理由や原因を知ることで、仕組み自体も深く理解することができたと思います。

一度特待生になれたことで、もう一度特待生を目指すという目標ができ、さらに授業に集中して臨むことができました。今回のように自分なりに勉強での目標を持ち努力を続けることは、大学生活で得た財産となりました。



学生と信頼と絆で結ばれた大学

経済学科2018年度卒業 波多野 菜央

高い就職率を誇る下関市立大学ですが、私が決めた卒業後の進路は就職ではなく「シンガーソングライター」です。

高校3年生の夏、担任の勧めもあり、オープンキャンパスに参加し学内の落ち着いた雰囲気や実家から通えることが決め手となり受験を決めました。大学生活では、専門分野のみならず興味のある語学や哲学など様々な分野に触れることができました。資格取得や検定受験など学生の「チャレンジ」をサポートする大学のシステムが充実しており、まさに「頑張る人を応援する」環境が整っています。また、先生や職員の方々との距離が近いアットホームな雰囲気も魅力の一つです。プライベートな相談にも親身になっていただき、現在も「シンガーソングライター」という珍しい進路の選択をした私を大学全体で応援していただいております。

今後は卒業生の一人として、この大学で培った様々な「想い」を歌にして全国へ発信し、生まれ育った北九州と第二の故郷下関を波多野菜央持前の皆をハッピーにするパワーで盛り上げていきたいと思っています。



2019年度予算

(単位:百万円)

	区 分	金 額
収 入	運営費交付金	185
	授業料等	1,068
	入学金	126
	入学検定料等	65
	事業収入等	26
	寄付金	7
	補助金	0
	目的積立金取崩額	0
	計	1,477
支 出	一般管理費	189
	人件費	1,038
	教育経費	168
	研究経費	42
	教育支援経費(図書館)	40
	計	1,477

2019年3月～6月行事

- 3月 8日 一般選抜(中期日程)
- 25日 卒業式
- 4月 3日 新入生プレイメントテスト
在学学生オリエンテーション
健康診断(～8日)
- 4日 入学式
新入生保護者説明会
大学院新入生オリエンテーション
履修登録事前エントリー(～6日)
- 5日 新入生オリエンテーション(～8日)
- 8日 履修登録開始(～12日)
- 9日 春学期授業開始
- 26日 前期授業料納入期限
- 5月 13日 履修登録取消期間(～17日)
- 20日 特待生表彰式
- 6月 1日 開学記念日
- 6日 地域共創研究成果報告会
- 27日 高校教員対象入試説明会

◎ご意見・ご感想をお持ちの方は、アンケートにご協力をお願いします。今後の広報活動に役立てるよう努力いたします。以下のQRコードを読み取ってからアンケートにお答えください。

https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/form/koho_mail.php



下関市立大学 オープンキャンパス2019

8/10(土) 8/11(日) 9/29(日)*
10:00～(受付9:30～)

- ★参加者全員にオリジナルグッズプレゼント!!
- ★無料ランチ券配付(8月のみ)

【全体説明】

- 大学概要:本学の特色などを紹介します。
- 入試説明:今年度入試の概況、来年度入試について説明します。
- 就職状況:就職状況やサポート体制を解説します。

【模擬講義】

本学の教員が、高校生の皆さんに日頃の授業をわかりやすく講義します。

【語学体験】

英語・中国語・朝鮮語の初歩的なレッスンなどを行います。

【小論文対策講座】

本学の小論文試験の傾向と対策について講義します。

【個別相談】

入試や大学生活、就職など、いろいろな疑問に教職員がお答えします。

【市大生と語ろう】

授業やサークル、アルバイトなど、在学生の生の声が聞けます。

【学内施設ツアー】

学生とおしゃべりしながら、学内を散策します。

【学生食堂】無料ランチ(8月のみ)

学食の人気メニューが味わえます。

*9月29日はプログラムの内容が異なります。詳細はHPをご覧ください。

■無料送迎バス運行(8月のみ)

最寄駅(JR幡生駅・新下関駅東口)から運行。

全体説明



個別相談



市大生と語ろう



学内施設ツアー



インターネット出願のご案内

受験生の利便性を高めるために、下関市立大学では2020年度入試(2019年度実施)から、推薦入学試験及び一般選抜試験において、インターネット出願を導入します。導入に伴い、従来の紙での出願受付は行いません。
*特別選抜、外国人留学生選抜、第3年次編入学は、従来どおり紙による出願となります。